allcinema

アダム氏とマダム（1949）

ADAM'S RIB

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 101分
初公開日 1950/07/28
公開情報 セントラル

【解説】

なんともチャーミングなスクリューボール・コメディの快作。冒頭から意味ありげなセミ・ドキュメンタリー調で、退社後の亭主を尾行し浮気現場を押さえて発砲事件を起こす妻を追っておかしい（説明書を見ながら銃を盲滅法に撃つのだ！）。妻ドリスは主演のヘプバーンの強力な推薦でこの役を獲得したＪ・ホリデイ。夫ワレンは「七年目の浮気」でもおなじみＴ・イーウェル。さて、その翌朝の新聞を興味深く読んだアダムとアマンダのボナー夫妻。弁護士の妻は早速加害者の弁護を買って出る。検事補の夫はいやいや事件の担当を仰せつかる。そこで仲睦まじいＤＩＮＫＳ夫婦の間に徐々に亀裂が入り…というお話なのだが、アダム氏が、妻にプレゼントした帽子が被告のものになって驚いたり、法廷の卓の下で茶目っ気たっぷりにスカートから下着を覗かせる妻に苦笑したり、というくすぐりから、男性と対等に実社会で働く女性の代表で証言台に立ったサーカスの怪力女にアダムが軽々と持ち上げられてしまう、というスラップスティック・ギャグまで笑いの幅は広い。そんな、お腹を抱えながら、法の下の男女平等を身にしみさせていく知的に練られた脚本の力も凄いが、キューカーとトレイシーとヘプバーンの揺るぎないチームワークからにじみ出る人間的雰囲気は、そんじょそこらの演出家と役者には真似の出来ないものだろう。アマンダにちょっかいを出す向かいの部屋に住む作曲家キップと彼女が一緒のところを襲うアダムのケッ作な狂言自殺。彼は、男でも涙を武器にできる－－とラストで泣いてみせるのだ。トレイシーは全くの儲け役。映画の中にこんな理想の夫婦もいるのです！

【クレジット】

監督	ジョージ・キューカー	George Cukor
製作	ローレンス・ウェインガーテン	Lawrence Weingarten
脚本	ガーソン・ケニン	Garson Kanin
	ルース・ゴードン	Ruth Gordon
撮影	ジョージ・Ｊ・フォルシー	George J. Folsey
音楽	ミクロス・ローザ	Miklos Rozsa
出演	スペンサー・トレイシー	Spencer Tracy
	キャサリン・ヘプバーン	Katharine Hepburn
	ジーン・ヘイゲン	Jean Hagen
	ジュディ・ホリデイ	Judy Holliday
	デヴィッド・ウェイン	David Wayne
	トム・イーウェル	Tom Ewell

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.